

Netfinity 5500 M20

はじめにお読みください



Netfinity 5500 M20

はじめにお読みください

— お願い —

本 *Netfinity* サーバー・ライブラリー およびそれによってサポートされる製品をご使用になる前に、この サーバー・ライブラリー の「特記事項および安全情報」の節を必ずお読みください。

第 1 版 (1999 年 2 月)

原 典： 33L3656
Netfinity 5500 M20
Start Here
発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社
担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.3

©Copyright International Business Machines Corporation 1999. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1999

はじめにお読みください

このたびは、IBM Netfinity 5500 M20 サーバー をお買いあげいただき、ありがとうございます。この「はじめにお読みください」の節では、Netfinity 5500 M20の サーバー・ライブラリー の概要を示します。「はじめにお読みください」には、フィーチャーのリストも記載され、Netfinity 5500 M20 の主な構成要素の一部の図も提供されています。

サーバーと共に提供される Netfinity サーバー・ライブラリー には、ソフトウェア CD およびシュリンク・ラップされた資料が含まれ、セットアップおよびインストール、ハードウェア、ソフトウェア (ServerGuide および Netfinity マネージャー)、システム管理、ServeRAID、ヘルプの入手、ならびに法律上および安全上の情報に関する詳しい情報が記載されています。

ソフトウェア CD を前に付け、シュリンク・ラップされた資料を Netfinity サーバー・ライブラリーのバインダーにとじます。

目次

Netfinity サーバー・ライブラリー の概要	2
安全に関する注意	3
ヘルプ情報	4
品目リスト	5
システム・フィーチャー	6
フィーチャーの一覧	6
Netfinity 5500 M20 サーバー の分解組み立て図	8
システム・ボードの構成要素	10
プロセッサ・ボードの構成要素	13
メモリー・ボードの構成要素	15

Netfinity サーバー・ライブラリーの概要

以下のリストでは、Netfinity サーバー・ライブラリーの各節について説明します。

クイック・セットアップおよびインストール

この節はすべてのユーザーを対象に書かれていますが、経験を積んだユーザーを念頭に置いています。ここでは、サーバーをセットアップおよび配線し、サーバーを始動および構成し、ネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) をインストールするのに必要な情報が記載されています。

ハードウェア情報

この節には、以下のような情報が記載されています。

- 構成手順
- オプションの取り付け指示
- ラックの取り付け指示
- 問題解決およびトラブルシューティング
- サーバーの記録および仕様

特記事項および安全情報

この節には、以下に関する情報が記載されています。

ServerGuide

IBM Netfinity サーバー専用に設計されたソフトウェア・セットアップおよびインストール・ツール

Netfinity マネージャー

ネットワークのハードウェア・システム管理機能を拡張するために設計された分散アプリケーション・グループ

システム管理情報

この節には、Netfinity マネージャー システム管理 サービスを使用する、システム管理に関する詳細情報が記載されています。

ServeRAID 情報

この節には、ServeRAID に関する情報が記載されています。

ヘルプ情報の入手

この節には、支援を得ることができる電話番号および Web サイト・アドレスが記載されています。

「特記事項および安全情報」

この節には、法律上の詳細情報 (電波障害ステートメントなど) および安全上の注意が記載されています。

安全に関する注意



本製品をインストールする前に、安全上の注意をお読みください。

1

⚠ 危険

感電を防止するため、雷の発生時には、いかなるケーブルの取り付けまたは取り外しも行わないでください。また導入、保守、再構成などの作業も行わないでください。

感電を防止するため：

- 電源コードは正しく接地および配線が行われている電源に接続してください。
- 本製品が接続されるすべての装置もまた正しく配線された電源に接続されている必要があります。

できれば、信号ケーブルに取り付けまたは取り外しのときは片方の手のみで行うようにしてください。これにより、電位差がある二つの表面に触ることによる感電を防ぐことができます。

電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または製品のカバーを開けたり装置を接続したりするときには、以下のようにケーブルの接続、取り外しを行ってください。

接続するには

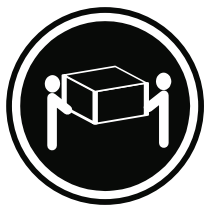
1. すべての電源を切る
2. まず、装置にすべてのケーブルを接続する。
3. 次に、通信ケーブルをコネクタに接続する
4. その後、電源コンセントに電源コードを接続する
5. 装置の電源を入れる。

取り外すには

1. すべての電源を切る
2. まず、電源コンセントから電源コードを取り外す
3. 次に、通信ケーブルをコネクタから取り外す。
4. その後、装置からすべてのケーブルを取り外す

4

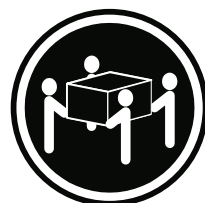
⚠ 注意



18Kg 以上



32Kg 以上



55Kg 以上

装置を持ち上げる場合は、安全に持ち上げる方法に従ってください。

ヘルプ情報

サーバーのセットアップ、インストール、または操作中にヘルプを必要とする場合は、このサーバー・ライブラリーの「ヘルプ情報の入手」の節を参照してください。支援を得ることができる電話番号および Web サイト・アドレスが記載されています。

品目リスト

以下は、Netfinity 5500 M20 サーバー とともに納品される品目のリストです。

ハードウェア:

- タワー・モデル:

- キーボード
- マウス
- メディア取り付けキット
- NetBAY3 ベゼル
- システム電源コード
- サーバー・キー 2 個 (サーバーに付加されています)

注: サーバー・キーを紛失した場合は、代替のロック機構とキーを IBM にオーダーする必要があります。

- ラック・モデル:

- リフト・ハンドル
- メディア取り付けキット
- ラック取り付けハードウェア
- システム電源コード

ソフトウェア:

- IBM ServerGuide CD
- その他のソフトウェア・パッケージ

マニュアル類:

- Netfinity サーバー・ライブラリー
- IBM Netfinity ラック取り付けテンプレート (ラック・モデルのみ)

万一、部品が不足または破損していた場合は、商品を購入した販売代理店または営業担当員に連絡してください。

システム・フィーチャー

以下の情報をおよび図を使用して、Netfinity 5500 M20 サーバー の様々な機構についてよく知ってください。

フィーチャーの一覧

次の表は、Netfinity 5500 M20 のフィーチャーをまとめたものです。表にリストされているフィーチャーの詳細については、この *サーバー・ライブラリー* の「ハードウェア情報」の節を参照してください。

マイクロプロセッサ

- Intel® Pentium® III Xeon™ マイクロプロセッサ (MMX™テクノロジーを搭載)
- 32KB のレベル 1 のキャッシュ
- 512KB のレベル 2 のキャッシュ (最小)
- マイクロプロセッサ 4 個に拡張可能

メモリー

- 基本: 256MB (最小)、4GB に拡張可能
- 100MHz の Registered エラー修正コード (ECC)、同期動的ランダム・アクセス・メモリー (SDRAM)
- デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) ソケット 8 個

ディスク・ドライブ

- 標準: 3.5 インチ、1.44 MB 1 台

ハード・ディスク・ドライブ

- ホット・スワップ可能なハード・ディスク・ドライブを 6 台までサポート可能。

CD-ROM ドライブ

- 標準: 32 倍速 IDE

キーボードおよび補助装置 (タワー・モデルでのみ標準)

- キーボード
- マウス

事前障害分析 (PFA) アラート

- 電源装置
- ファン
- メモリー
- ハード・ディスク・ドライブ
- マイクロプロセッサ
- 電圧調整器モジュール (VRM)

拡張ベイ

- スリム (1 インチ) 6 個、またはハーフハイト (1.6 インチ) ホット・スワップ・ドライブ・ベイ 3 個
- 5.25 インチ取り外し可能メディア・ベイ (1 つは CD-ROM ドライブで使用)
- IBM Netfinity NetBAY3 (タワー・モデルのみ) は、オプションを取り付けることによって、さらに拡張ベイの増設が可能。

拡張スロット

- 最大 6 個までのアダプターを取り付けることができます。
 - 32 ビットホット・プラグ PCI スロット 4 個
 - 32 ビット基本 (非ホット・プラグ) PCI スロット (ショート・カード専用) 1 個
 - 16 ビット ISA スロット 1 個

アップグレード可能なマイクロコード

- BIOS、診断プログラム、Netfinity システム管理プロセッサ、および ServeRAID のアップグレード (入手可能な場合) は、システム・ボード上の EEPROM の更新が可能

機密保護機能

- ドアおよびトップ・カバー用ロック (タワー・モデルのみ)
- NetBAY3 ベゼル・ロック (タワー・モデルのみ)
- 始動パスワードおよび管理者パスワード
- 始動ドライブを選択可能
- キーボード・パスワード
- システム管理機密保護
 - ユーザー・ログイン・パスワード
 - 読み取り専用または読み取り / 書き込みアクセス
 - ダイアル・バック

組み込み機能

- シリアル・ポート 2 個
- 汎用シリアル・バス (USB)・ポート 2 個
- パラレル・ポート 1 個
- マウス・ポート
- キーボード・ポート
- ビデオ・ポート
- 管理 RS485 ポート
- SCSI ポート
- システム・ボード上の IBM ServeRAID コントローラー (2 チャンネル)
- 10BASE-T/100BASE-TX イーサネット・ポート (システム・ボード上のコントローラー)
- オプションのネットワーク・インターフェース・カード (NIC) を使用することによる、冗長イーサネット機能
- システム・ボード上の Netfinity システム管理プロセッサ
- 専用 システム管理 入出力ポート
- 次のものと互換性のあるビデオ・コントローラー (1 MB ビデオ・メモリー搭載)
 - スーパービデオ・グラフィック・アレイ (SVGA)
 - ビデオ・グラフィックス・アダプター (VGA)

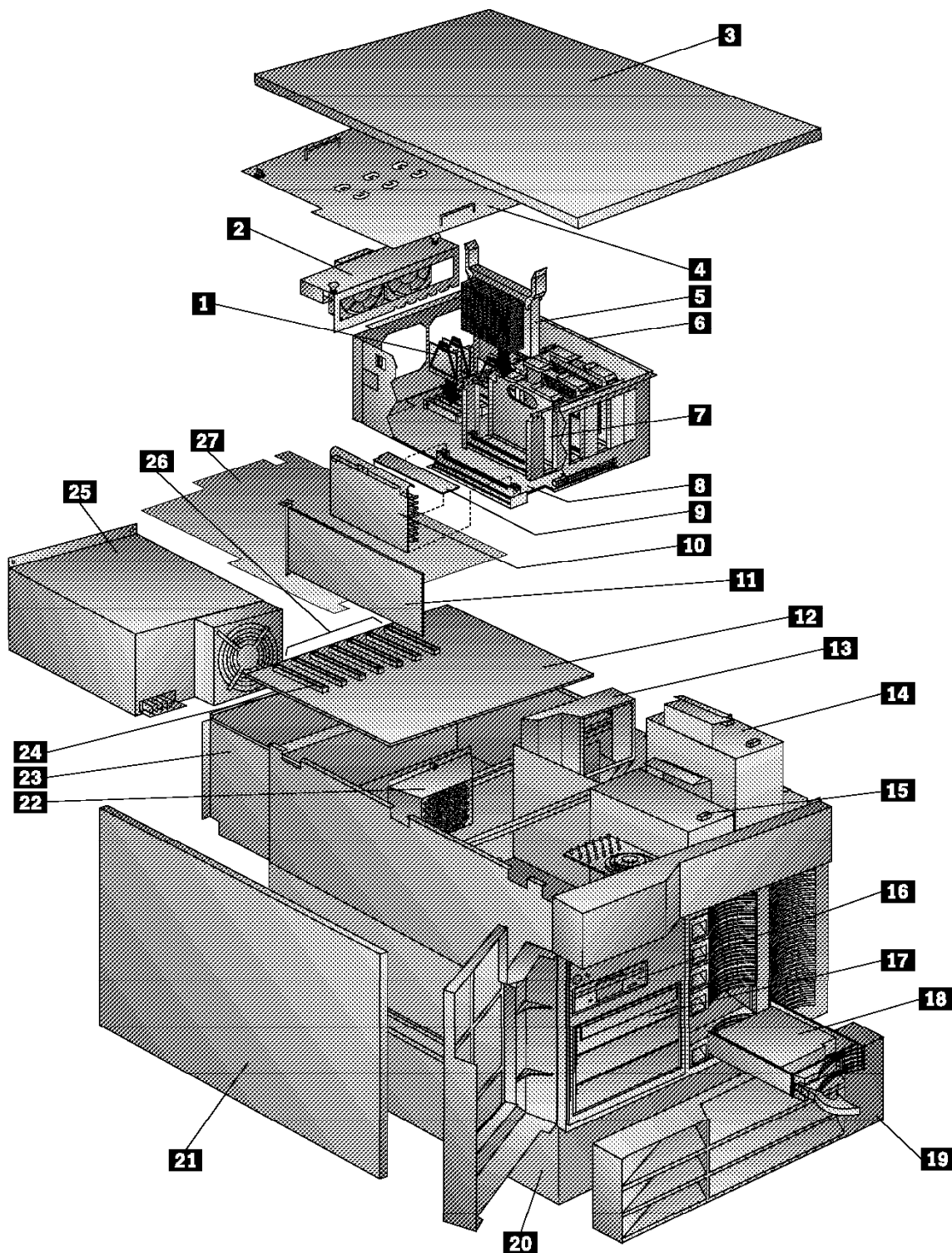
電源装置

- 500 W (115-230 V ac)
- 電圧範囲を自動的に選択
- 過負荷保護およびサージ保護機能を内蔵
- 電源瞬間切断後の自動再始動
- 予備電源として、オプションの 500 W 電源装置を使用可能

予備冷却

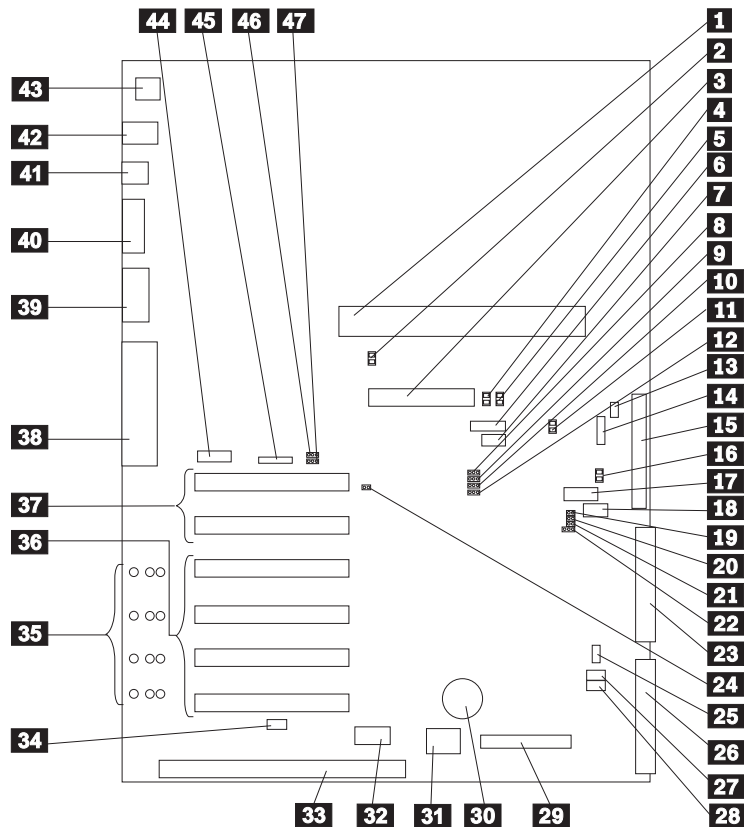
- ホット・スワップ・ファン 4 個

Netfinity 5500 M20 サーバー の分解組み立て図



- | | | | | | |
|----------|---------------------|-----------|-------------------------------|-----------|-------------------------|
| 1 | 電圧調整モジュール | 10 | メモリー・ボード | 19 | ベゼル、NetBAY3 (タワー・モデルのみ) |
| 2 | ホット・スワップ・ファン 4 | 11 | プラスチックのセパレーター (または PCI アダプター) | 20 | NetBAY3 (タワー・モデルのみ) |
| 3 | トップ・カバー | 12 | システム・ボード | 21 | サイド・カバー (タワー・モデルのみ) |
| 4 | カバー、マイクロプロセッサ・ハウジング | 13 | エア・ディフューザー、ファン 3 | 22 | ホット・スワップ・ファン 1 |
| 5 | マイクロプロセッサ | 14 | ホット・スワップ・ファン 3 | 23 | シャトル |
| 6 | ハウジング、マイクロプロセッサ | 15 | ホット・スワップ・ファン 2 | 24 | ISA アダプター・スロット |
| 7 | ターミネーター、マイクロプロセッサ | 16 | ディスケット・ドライブ | 25 | ホット・スワップ電源装置 |
| 8 | プロセッサ・ボード | 17 | CD-ROM ドライブ | 26 | PCI アダプター・スロット |
| 9 | DIMM (メモリー) | 18 | ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ | 27 | シールド、システム・ボード |

システム・ボードの構成要素

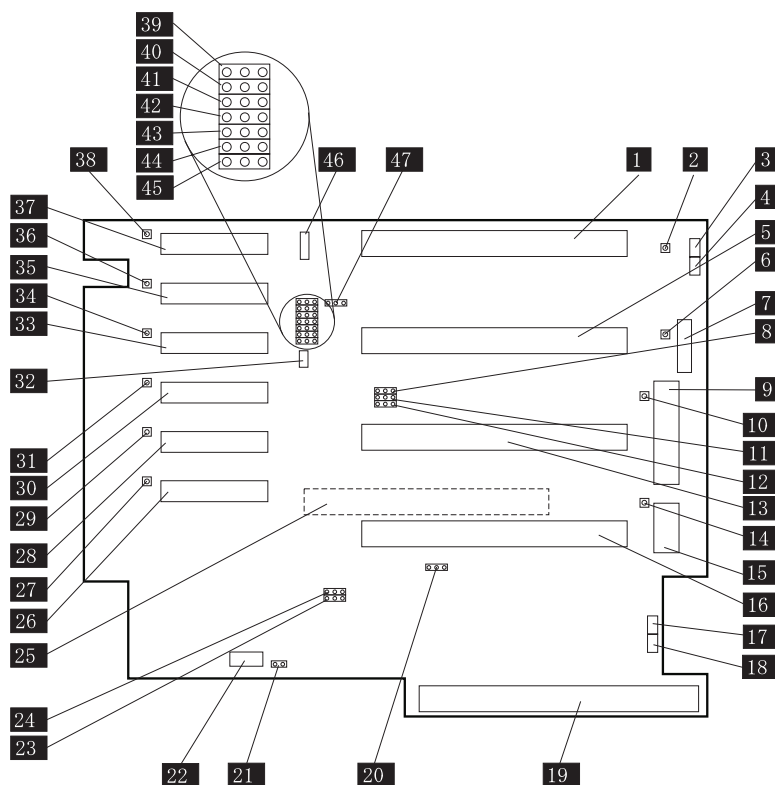


- 1** プロセッサ・ボード・コネクタ (J19)
- 2** システム管理 エラー LED (CR24)
- 3** RAID チャンネル 1 コネクタ (J7)
- 4** RAID チャンネル 1 エラー LED (CR30)
- 5** RAID チャンネル 2 エラー LED (CR31)
- 6** 予約済み (J54)
- 7** 予約済み (J64)
- 8** 使用不可 RAID コントローラ・ジャンパ・ブロック (J11)
- 9** 予約済み (J45)
- 10** 電源オン制御ジャンパ・ブロック (J32)
- 11** フラッシュ RAID コントローラ・ジャンパ・ブロック (J15)
- 12** 予約済み (J25)
- 13** 予約済み (J9)
- 14** 電源バックプレーン・ケーブル・コネクタ (J8)
- 15** RAID チャンネル 2 コネクタ (バックプレーンへ) (J3)
- 16** RAID システム・エラー LED (CR32)

- 17** RS485 コネクタ (J27)
- 18** 予約済み (J35)
- 19** SCSI 活動 LED コネクタ (J52)
- 20** 予約済み (J34)
- 21** RS485 モード・ジャンパー・ブロック (J29)
- 22** RS485 終端ジャンパー・ブロック (J26)
- 23** IDE コネクタ (J33)
- 24** 使用不可 システム管理 ジャンパー・ブロック (J51)
- 25** ファン・コネクタ (J36)
- 26** ディスケット・ドライブ・コネクタ (J22)
- 27** 電源オン・パスワード上書きジャンパー・ブロック (J24)
- 28** フラッシュ ROM ページ・スワッピング・ジャンパー・ブロック (J30)
- 29** 制御パネル・コネクタ (J20)
- 30** バッテリー
- 31** 予約済み (J46)
- 32** ホット・プラグ PCI コントローラー・プログラマー・インターフェース・コネクタ (J53)
- 33** ISA 拡張スロット
- 34** ホット・プラグ・スイッチ・コネクタ (J16)
- 35** PCI スロット LED (4 つはボードのサイドにあります)
- 36** PCI (ホット・プラグ) スロット 1 ~ 4 (1 次 PCI バス 1)
- 37** PCI スロット 5 および 6 (1 次 PCI バス 0)
注: プロセッサ・カバーがあるため、PCI スロット 6 を使用することはできません。
PCI スロット 5 は小型のアダプターのみをサポートします。
- 38** パラレル・ポート・コネクタ (J56)
注: シリアル・ポート A および B コネクタはパラレル・ポート・コネクタの下にあります。
- 39** ビデオ・ポート・コネクタ (J2)
- 40** 管理ポート C コネクタ (J42)
- 41** USB 1 および USB 2 ポート・コネクタ (J31)
注: USB 2 コネクタは、USB 1 コネクタの下にあります。
- 42** マウスおよびキーボード・コネクタ (J1)
注: キーボード・コネクタはマウス・コネクタの下にあります。
- 43** イーサネット・ポート・コネクタ (J4)

- 44** 予約済み (J17)
- 45** 予約済み (J18)
- 46** 使用不可イーサネット・コントローラー・ジャンパー・ブロック (J5)
- 47** 使用不可ビデオ・コントローラー・ジャンパー・ブロック (J14)

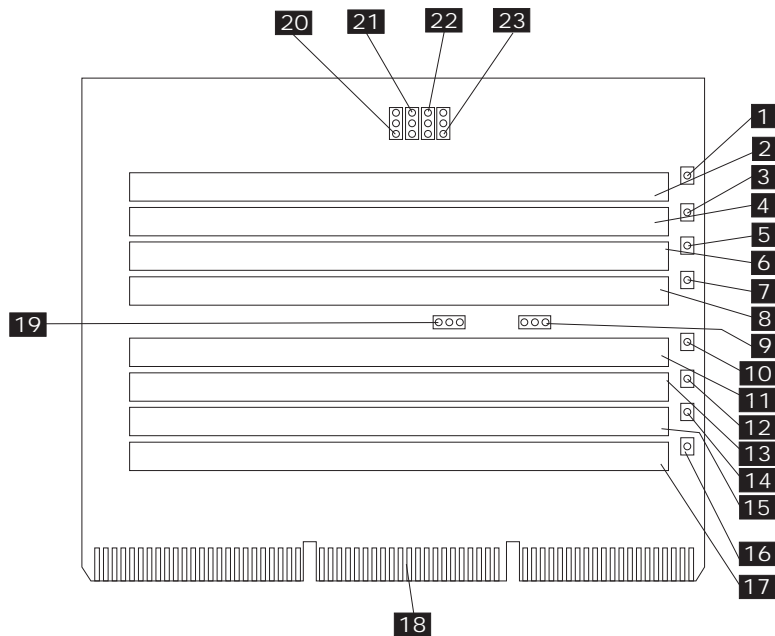
プロセッサ・ボードの構成要素



- 1** マイクロプロセッサ 1 コネクタ (J1)
- 2** マイクロプロセッサ 1 エラー LED (CR16)
- 3** マイクロプロセッサ 1 ファン電源コネクタ (J7)
- 4** マイクロプロセッサ 2 ファン電源コネクタ (J8)
- 5** マイクロプロセッサ 2 コネクタ (J2)
- 6** マイクロプロセッサ 2 エラー LED (CR15)
- 7** 電源制御コネクタ (電源バックプレーンへ) (J33)
- 8** 予約済み (装備されていない場合もあります) (J15)
- 9** 電源コネクタ (電源バックプレーンへ) (J32)
- 10** マイクロプロセッサ 3 エラー LED (CR18)
- 11** 予約済み (装備されていない場合もあります) (J22)
- 12** 予約済み (装備されていない場合もあります) (J23)
- 13** マイクロプロセッサ 3 コネクタ (J3)
- 14** マイクロプロセッサ 4 エラー LED (CR21)
- 15** 電源コネクタ (J35)
- 16** マイクロプロセッサ 4 コネクタ (J4)

- 17** マイクロプロセッサ 3 ファン電源コネクタ (J9)
- 18** マイクロプロセッサ 4 ファン電源コネクタ (J10)
- 19** メモリー・ボード・コネクタ
- 20** 予約済み (J24)
- 21** 予約済み (J37)
- 22** ファン 4 コネクタ (J36)
- 23** 予約済み (装備されていない場合もあります) (J21)
- 24** 予約済み (J20)
- 25** システム・ボード・コネクタ(プロセッサ・ボードの裏側)
- 26** VRM 6 コネクタ (J18)
- 27** VRM 6 エラー LED (CR4)
- 28** VRM 5 コネクタ (J17)
- 29** VRM 5 エラー LED (CR7)
- 30** VRM 4 コネクタ (J16)
- 31** VRM 4 エラー LED (CR2)
- 32** 予約済み (J11)
- 33** VRM 3 コネクタ (J14)
- 34** VRM 3 エラー LED (CR3)
- 35** VRM 2 コネクタ (J13)
- 36** VRM 2 エラー LED (CR6)
- 37** VRM 1 コネクタ (J12)
- 38** VRM 1 エラー LED (CR5)
- 39** マイクロプロセッサ・コア周波数選択ジャンパー・ブロック (J31)
- 40** マイクロプロセッサ・コア周波数選択ジャンパー・ブロック (J30)
- 41** マイクロプロセッサ・コア周波数選択ジャンパー・ブロック (J29)
- 42** マイクロプロセッサ・コア周波数選択ジャンパー・ブロック (J28)
- 43** 予約済み (J27)
- 44** 予約済み (J25)
- 45** 予約済み (J26)
- 46** 予約済み (J19)
- 47** システム・リセット・ジャンパー・ブロック (J34)

メモリー・ボードの構成要素



- | | |
|--------------------------------|---|
| 1 DIMM 1 エラー LED (CR5) | 14 DIMM 7 エラー LED (CR1) |
| 2 DIMM コネクター 1 (J1) | 15 DIMM コネクター 7 (J7) |
| 3 DIMM 2 エラー LED (CR6) | 16 DIMM 8 エラー LED (CR8) |
| 4 DIMM コネクター 2 (J2) | 17 DIMM コネクター 8 (J8) |
| 5 DIMM 3 エラー LED (CR3) | 18 メモリー・ボード・コネクター
プロセッサ・ボードへ |
| 6 DIMM コネクター 3 (J3) | 19 予約済み (J15)
(装備されていない場合もあります) |
| 7 DIMM 4 エラー LED (CR2) | 20 予約済み (J12) |
| 8 DIMM コネクター 4 (J4) | 21 予約済み (J14)
(装備されていない場合もあります) |
| 9 予約済み (J13) | 22 予約済み (J9) |
| 10 DIMM 5 エラー LED (CR7) | 23 予約済み (J11) |
| 11 DIMM コネクター 5 (J5) | |
| 12 DIMM 6 エラー LED (CR4) | |
| 13 DIMM コネクター 6 (J6) | |



Printed in Japan

1999 年 2 月

+++EDF010E DOCNUM tag required with COVER tag. (Page 16 File: D3LM1MST SCRIPT)
DSMMOM397I '.EDF#CV' WAS IMBEDDED AT LINE 210 OF '.EDF#BCV7'
DSMMOM397I '.EDF#BCV7' WAS IMBEDDED AT LINE 680 OF '.EDF#END'
DSMMOM397I '.EDF#END' WAS IMBEDDED AT LINE 536 OF 'EDFJPN4A'
+++EDF010E DOCNUM tag required with COVER tag. (Page 16 File: D3LM1MST SCRIPT)
DSMMOM397I '.EDF#CV' WAS IMBEDDED AT LINE 210 OF '.EDF#BCV7'
DSMMOM397I '.EDF#BCV7' WAS IMBEDDED AT LINE 680 OF '.EDF#END'
DSMMOM397I '.EDF#END' WAS IMBEDDED AT LINE 536 OF 'EDFJPN4A'
+++EDF010E DOCNUM tag required with COVER tag. (Page 16 File: D3LM1MST SCRIPT)
DSMMOM397I '.EDF#CV' WAS IMBEDDED AT LINE 210 OF '.EDF#BCV7'
DSMMOM397I '.EDF#BCV7' WAS IMBEDDED AT LINE 680 OF '.EDF#END'
DSMMOM397I '.EDF#END' WAS IMBEDDED AT LINE 536 OF 'EDFJPN4A'